新世紀未来宣言20周年
１００年後の子どもたちのためによりよい紫波を！

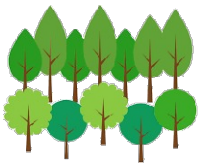
— ひとと時代をつなぐ —

めぐりっと紫波

[Vol.57]　令和３年２月24日
発行者　ＮＰＯ法人紫波みらい研究所
TEL019-671-2244 FAX019-671-2243
E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

紫波町では町産木材を積極的に活用することで、森林資源循環と経済的循環が両立することを目指した取り組みを行っており、公共施設の木造建築を推進してきました。そして、令和４年４月に開校予定の小中一貫校「紫波東学園」も１００％町産木材（柱や梁などの構造材）を使用して建設されます。

１０月発行の「めぐりっと紫波」では町有林から伐り出した木材を製材し、集成材に加工する工程を、学校を利用する子供たちや親御さん等と見学してきた様子を掲載しました。今回は、校舎に使用される集成材の約 85％を製造する「協同組合遠野グルーラム」を訪問してきましたので、進捗状況とあわせてご紹介します。



紫波の森がわたしたちの学校に part2

●挽き板が集成材に

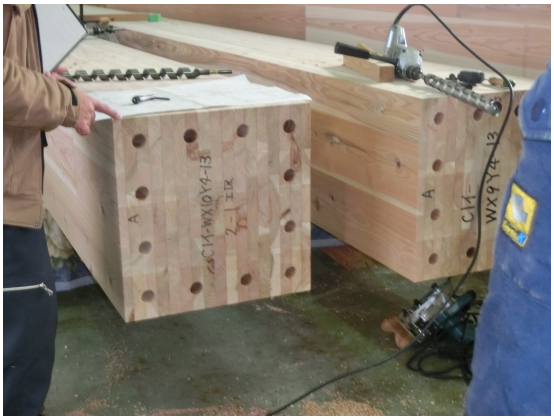
集成材を構成する紫波町産のスギとカラマツの挽き板（ラミナ）の納品は 12 月 28 日に完了。ラミナは乾燥機で水分が 8％になるまで７～１４日かけて乾燥させます。

乾燥したラミナは大きな節や傷がある部分を取り除き、たて継ぎ（フィンガージョイント）し、１枚ずつ強度を測定します。

たて継ぎしたラミナは接着剤を塗り、重ね合わせ、熱と圧力をかけて接着すると集成材になります。表面を削れば手触りが良く、やさしい雰囲気の大断面のスギの柱が完成です。

●集成材が柱材や梁材に

柱と梁を接合する金物を取り付ける加工（穴あけ）を
します。（大きいので職人が追加で手加工しています）



カラマツは梁材になります

こんな集成材もあります（アーチ）
※紫波東学園の部材ではありません

このような工程を経て、２月 15 日までに紫波町の建設現場に納品されます。

小中一貫校紫波東学園（紫波東小学校・紫波第二中学校）建設工事の概要

■工事期間（予定）

令和 2(2020)年 8 月 25 日から令和 4(2022)3 月 15 日まで

■主な工事内容

・新築校舎木造一部 RC 造 2 階建 建設工事（3,544.80 ㎡）

・電気設備工事　・機械設備工事　・既存校舎解体工事

めぐりっと紫波は、紫波町産業部環境課の委託事業で発行しています。